

## 町民ランナー189人が完走 第32回美羅尾山ろく完走マラソン大会

- ▼1位/鶴田 裕介 4分50秒  
▼2位/小西 岳登 5分11秒  
▼3位/吉田 龍騎 5分12秒  
▼4位/坪井 謙尚 5分14秒  
▼5位/小杉山航生 5分16秒  
▼6位/山家 朱理 5分21秒

上位の結果は次のとおりです。  
(敬称略)



最年少で完走した辻谷理子ちゃん(左)

この大会は、毎年、体育の日にスポーツに親しみ、各自の体力を測ることを目的に開催されています。種目は、らくらくコース1キ、ほのぼのコース3キ、さわやかコース5キの3コース。それぞれ、一般とファミリーの部に分かれて、小雨の降る肌寒い中、各自の体力に合わせた距離で完走を目指しました。

この大会は、毎年、体育の日にスポーツに親しみ、各自の体力を測ることを目的に開催されています。種目は、らくらくコース1キ、ほのぼのコース3キ、さわやかコース5キの3コース。それぞれ、一般とファミリーの部に分かれて、小雨の降る肌寒い中、各自の体力に合わせた距離で完走を目指しました。



選手宣誓をする宮田ファミリー

第32回美羅尾山ろく完走マラソン大会(町教育委員会主催・体育指導委員協議会主催)が10月11日、2歳から76歳までの町民ランナー189人出場のもと盛会に開催されました。



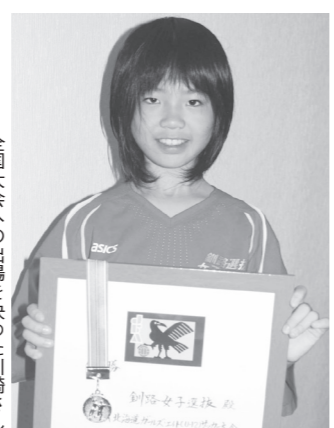
3キロを2年連続でトップでゴールした弟子屈中2年の小山内選手

- ▼1位/松田 慎平 17分08秒  
▼2位/杉山 駿介 17分14秒  
▼3位/野田 琢也 19分37秒  
▼4位/吉田 直貴 20分04秒  
▼5位/石川 樹 20分10秒  
▼6位/松本 建身 20分53秒  
▼7位/山崎 裕貴 21分03秒  
▼8位/影山 翔也 21分23秒  
▼9位/佐藤 一志 21分48秒  
▼10位/有岡 大樹 22分01秒

- ▼7位/山家 奨史 5分21秒  
▼8位/吉田 晶 5分29秒  
▼9位/有園 岳馬 5分40秒  
▼10位/辻谷 麦 5分42秒

- ▼1位/小山内隼斗 11分52秒  
▼2位/金川 竜佑 12分07秒  
▼3位/松田 海 12分32秒  
▼4位/濱岡 浩平 12分38秒  
▼5位/山崎 夏美 12分42秒  
▼6位/西田 健修 13分46秒  
▼7位/太田 那菜 14分03秒  
▼8位/媚山 兼人 14分25秒  
▼9位/佐藤 俊 14分49秒  
▼10位/桐木 頼子 15分08秒

川崎麗空さん女子サッカーで  
全国大会出場へ！  
釧路女子選抜チーム所属の川崎麗空さん(弟子屈小5年)が9月25、26の両日、道内各地の代表12チームが出場して開催されたJFA北海道地域ガールズ・エイトU-12大会の



全国大会への出場を決めた川崎さん

メンバーに選ばれ、見事、初出場で初優勝を飾りました。  
川崎さんは、摩周サッカースポーツ少年団に所属し地元で練習しながら、週に1回の釧路女子選抜での練習に励んでいます。また、今回の全道大会の優勝により、全国各地の代表32チームが出場して2月に福島県で行われる全国大会への出場を決めました。  
大会前に役場を訪問した川崎さんは「全道大会の優勝はともうれしかったです。全国大会では全国各地から出場する選手と友達になり、全国制覇を目指します」と笑顔で目標を語ってくれました。

- ◆全国全道大会情報(敬称略)  
◎第12回北海道ジュニア陸上競技選手権大会(9月18日から小樽市)  
▼西田健修(弟子屈中1年) / 110メートルハードル17秒36 準決勝進出・砲丸投げ10メートル75 第2位 / 濱岡浩平(同) / 100メートル12秒92 準決勝進出・走り幅跳び4メートル96 予選敗退  
◎第26回北海道高等学校新人陸上競技大会(9月21日から旭川市)  
▼西田尚将(弟子屈高2年) / 110メートルハードル15秒46 第2位 / 横井克哉(同) / 砲丸投げ8メートル79 予選敗退・円盤投げ23メートル31 予選敗退  
▼小澤奏(同1年) / 棒高跳び1

### みんなの活躍を紹介!

◎第32回北海道高等学校秋季テニス大会(10月6日から苫小牧市)  
▼三神翔吾(弟子屈高2年)男子シングルス 1回戦敗退 / 三神翔吾・清水祐太郎(同1年)男子ダブルス 2回戦敗退 / 坪田玲奈(同2年) / 女子シングルス 2回戦敗退 / 女子団体戦 3回戦敗退  
◎第8回JFAガールズエイト北海道大会U-12(9月25日から釧路市)  
▼川崎麗空(弟子屈小5年) チーム優勝(釧路選抜チーム)  
※2月に福島県で行われる全国大会に出場。



JR摩周駅前に設けられたえこパスステーション(上)とえこバスポートを使って町内を散策する(右) 弟高生(左)

## 好評だった2 daysえこパスポート

約3カ月にわたる  
環境にやさしい観光交通実証運行が終了

「弟子屈2 days えこパスポート」を活用した、環境にやさしい観光交通実証運行事業が終了しました。事業は、7月17日～10月11日の87日間にわたって行われました。えこパスポートは、JR釧網本線の摩周(川湯温泉、町内バスが2日間乗り放題で1千円(大人)というもの。車を離れ、公共交通機関を利用した環境に優しい旅と、2日間乗り放題にすることで、滞在型の観光を提案することが目的で、購入者には、さまざまな特典も用意されました。通常の料金より格安でJRやバスが利用できるため、観光客ばかりではなく、町の皆さんにも便利なバスポートで、地域公共交通の活性化を目指すという目的も。実際、自治会などでの利用もありました。9月28日には、弟子屈高校(鈴木晃校長)の生徒が、総合的な学習の時間でえこバスポートを利用し、町内を取材しました。えこバスポートは、個人観光客の皆さんを中心に非常に好評で、1日30枚ペース、トータルで約2千600枚ご購入いただきました。購入された方からは「とても便利で、お得なチケットだった」といった声が寄せられています。



### 町の話



おひさま保育園と摩周厚生病院下でのふれあいミニコンサート



札幌交響楽団のコンサート

## 美しい音色で 聴衆を魅了

札幌交響楽団のコンサート

札幌交響楽団の摩周湖ブルーコンサートが10月22日、摩周観光文化センターで開催されました。同センターの開館25周年を記念して開催された今回のコンサートは、指揮者に飯森親氏、ピアノに花房晴美氏を迎えて開催され、約700人の観客がオーケストラの美しく迫力のある演奏に聞き入りました。コンサートでは、モーツァルトやグリーグ、スメタナなどの曲が披露されたほか、アンコールでは「霧の摩周湖」が演奏され、観客から大きな拍手が贈られていました。また同日、同楽団員によるふれあいミニコンサートが、町内3カ所で開催されました。町民の皆さんとの交流を目的に、無料で開催されたミニコンサート。おひさま保育園では、同園児と川湯保育園児、摩周丘幼稚園児が、ピアノとチェロによるアンサンブル演奏を楽しみました。ほかには摩周厚生病院では、入院中の方が弦楽四重奏を、特別養護老人ホーム摩周では同ホームと養護老人ホーム俣和園の入所者の方が、バイオリンとピアノの演奏を楽しみました。翌23日には、弟子屈小学校 弟子屈中学校、弟子屈高校の吹奏楽部員を対象に、同楽団のメンバーが楽器のメンテナンスや演奏の指導を行いました。児童や生徒は、貴重なプロからの指導に真剣に聞き入っていました。



観客を魅了した札幌交響楽団のコンサート



札幌のメンバーから指導を受ける吹奏楽部の部員たち